

白浜地区学校再編検討委員会における検討状況

【令和 7 年度】

第 1 回会議 (R7.11.28) 白浜コミュニティセンター

地区学校再編検討委員会設置要綱、南房総市内小学校の現状と委員会の体制、学校再編に関わる協議・検討事項等について説明し、保護者・地域の意見を聞くために説明会を開催することとなりました。

保護者説明会 (R8.1.13) 白浜コミュニティセンター 参加者 19 名

学校の位置やスクールバスに関する質疑が多く、通学時間が長くなる懸念や御心配の声をいただきました。おおむね 30 分圏内での統合案としてお示ししていますが、学校統合へ話が進んだ際には、保護者を含む専門部会を設置し、スクールバスの運行ルートや時間の検討をすることを御説明しました。

地区説明会 (R8.1.16) 白浜コミュニティセンター 参加者 26 名

学校の位置やスクールバスに関することや、複式学級でも良いのではないかという意見、子どもへアンケートを取って欲しいという意見などがありました。

学校統合の是非については今後、検討委員会で検討し、白浜地区としての結論を尊重する立場であること。子どもへのアンケートは内容的に難しく、保護者で子どもへ聞き取りを行い、話し合いの場に持ち寄って欲しいと回答しました。

第 2 回会議 (R8.2.5) 白浜コミュニティセンター

説明会の概要を確認しながら協議を行いました。

通学時間の長さ不安もあるため、急いで統合せず様子を見てはどうかという意見や、中学校統合を経験した委員から、子どもが統合して良かったと言っていること、統合した地域との交流が増え、地域のお祭りにも参加し賑わったことなどの話がありました。

慎重論・賛成論とも出ていることから、検討委員会は次年度へと引き継ぎ、協議を継続することとしました。

白浜地区学校再編検討委員会第2回会議 委員の意見概要

統合に関する不安・慎重意見

- 統合に向けて早々に動き出すのは時期尚早かと思う。児童数が5・6人になっても何が何でも白浜に小学校を残すつもりはないが、人口減少が加速する懸念を持っている。
- 通学時間も中学生とは違い、45～50分はかかってしまうのではないか。その負担を小学校低学年にかけるのは、果たして子どもにとって良いのか。
- 災害時に1・2年生という幼い年代の子どもを長時間、何日にもわたって親元から離すのは心苦しい。
- 第一に考えるのは子どもの教育環境であることは前提として、よく検証しながら進め、必要に応じて今後の話を進めるという形にしていきたい。

状況からして統合はやむを得ない・賛成意見

- 千倉の子どもと一緒に勉強するのが嫌だと考えている人は、まずほとんどいないと思っている。人数が増えるメリットはある。地域の方は、白浜が限界集落になることを恐れているんじゃないか。
- 3年後くらいから（人数が）ほとんど一桁。3・4人で学校へ行って何ができるのか。音楽や体育の授業でまともな教育ができるのか。この委員になる前は白浜に小学校を残さないといけないと思っていたが、やむを得ないのではないか。
- 自分の息子（未就学児を持つ親）とは、少ない子どもたちで授業をやるよりも、少しでも多い方がいいんじゃないかと話している。

統合をしてよかった経験談

- 子どもが中学2年のときに統合した時、クラスの男子18人中、白浜（出身）が4人だった。今後の6歳の人数を見ると、千倉で男の子20人中、白浜は4人。中学校で統合して20人の中に白浜の4人が馴染めるかどうか。早いうちから統合して、仲良く（小学校）6年間過ごしてきた中での中学校というのが、一番いいのかなと思っている。子どもは統合してよかったと言っている。
- 海女まつりに毎年行っているが、統合して最初に思ったのが、千倉の子がすごく来ていたこと。白浜のお祭りも、子どもの友達が手伝いに来てくれた。太鼓の練習も一緒に参加してく

れて、子どもたちの人数もいて、とても賑やかだった。逆に自分の子も千倉のお祭りに行ったりするので、人口が減るというより、千倉でも白浜のイベントごとでも、子どもが増える印象もある。

検討委員会について

- 自分は中学校の再編委員をやっていた。時間のかかることで、今日この案が出たからそれで決まりではない。検討していく中で、なくなる可能性もあるし、進む可能性もある。それを踏まえて、スクールバスの問題など、どんどん解決していくわけですから、そういうところでこの委員会を作っていくことは、私は賛成と思う。これをつくったから必ず合併するわけじゃないということだけは、皆さんに理解していただければ良いのではないかな。
- 説明会の時、子どもたちにアンケートを取ったかなどの話が出たと思う。今の小学生の意見を聞くのではなくて、統合したときの中学生に話を聞いて、それで問題点があったら、それをこの場で解決するというような形も良いのではないかな。そういう意見も、もし聞くチャンスがあったら、ここでまた発表してもらいたい。

質疑

- **スクールバスは、白浜から千倉に行くのと、千倉から白浜に来るのとで、何か課題や違いがあるのか。**

(回答) 通学時間については、統合する学校をどこに置いたらどうなるかを資料として提供して、学校の位置について皆さんに議論していただく考え。合同会議をした時に議論いただきたいと思う。

- **学校の場所や通学方法、廃校になったらどうするかという問題は、ここで統合するという結論が出てからの話。要は（統合を）するか・しないかという話になってくる。その場合、委員の何パーセントが賛成したら統合するのか。**

(回答) これまでの例では、多数決は取ってきていない。統合する方向で検討していこうという合意を、多数決ではない方法で得ていく進め方をしている。合同会議についても、子どもたちのためにどういう結論がいいのか、話し合っていて決めていただいている。結論が出て終わりではなく、一緒に同じ学区・同じ学校を支えていかなければいけないので、できるだけ合意していただきたいというのが私どもの願いであり、考えていること。

どうしても多数決で決めなくてはいけないということであれば、委員長さんが判断して、皆さんが合意を得て、決議する仕方もあると思っている。